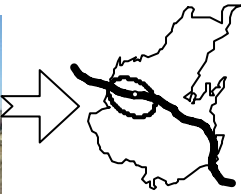
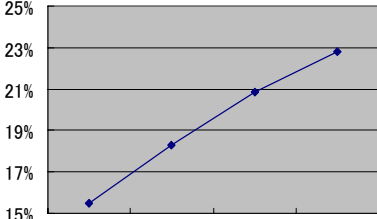
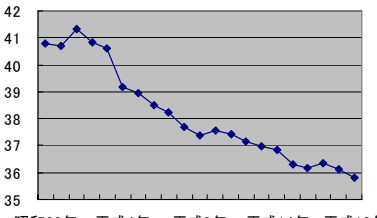


平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	「小諸～杉並」ミート・アンド・マッチングプロジェクト																								
対象地域	長野県小諸市大里地区																								
対象地域の概要	 【広がる耕作放棄地】 【大里地区】 【小諸市の位置】																								
提案内容の概要	小諸市と都市とを繋ぐ定期便を運行することにより、二地域でのコミュニティを創出する。定期便は、二地域の住民の出資による協働運行とし、運行時だけでなく普段から二地域を繋ぐ仕組みをつくる役割も果たす。今年度は、現状調査及び試験運用として耕作体験や小諸産野菜の直売などの行事等も行い、運営の可能性を探る。																								
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	小諸市が抱えている課題として2つのことが言える。 (1) 耕作放棄地の増加 農業従事者の流出や高齢化に伴う耕作放棄地の増加が見られる。平成18年度発行の「統計小諸」によれば昭和62年40.7k㎡あった耕作地が35.8k㎡まで減少しており、うち6.96k㎡が耕作放棄地となってしまう。 (2) 不況による失業と労働者の流出 昨今の不況を受けての所謂「派遣切り」等による労働者の失業、またそれを受けての彼らの市外への流出も問題となっている。 近年、小諸市の高齢者人口は増加の一途を辿っており、昭和60年の国勢調査時に13.4%だった高齢者人口が、平成17年時には22.8%となっている。ここに来て職を失った労働者たちが市外に流出すれば、高齢化・過疎化が一気に進行することも予測される。 また、市内の不動産業者によれば、すでに市内では労働者達が住んでいたアパートから退去し、その後空室になるという状況が多く見受けられ、その割合は不動産業者の管理するアパート約2000室のうちのおよそ35%にも及ぶという。 以上2つの課題の先に見えるさらに大きな課題が、地域コミュニティの縮小・断絶である。これは耕作放棄地や空室の増加に、すでにその一端が現れていると言える。 特に今回対象地域となる大里地区はアパートの空室が多く見られる地区である。農地についても、耕作放棄地が近隣に非常に多く見られ、またもともと小規模農家の多い地区であることから、農業従事者の高齢化に伴って、耕作放棄地が増加していく可能性も高い。 これらの課題に対して、現在の課題を地域内のみで解決することは、難しいと考えられる。そこで、市外との新たな繋がりをつくり、新たなコミュニティを創出するとともに、そのことにより既存の地域コミュニティの活性化を図っていく必要があるものとする。 小諸市 65歳以上高齢者人口(%) <table><tr><th>年次</th><th>割合(%)</th></tr><tr><td>平成2年</td><td>15.5</td></tr><tr><td>平成7年</td><td>18.5</td></tr><tr><td>平成12年</td><td>21.0</td></tr><tr><td>平成17年</td><td>23.0</td></tr></table> 小諸市 田・畑 面積(km2) <table><tr><th>年次</th><th>面積(km2)</th></tr><tr><td>昭和62年</td><td>41.5</td></tr><tr><td>平成4年</td><td>40.5</td></tr><tr><td>平成9年</td><td>38.5</td></tr><tr><td>平成14年</td><td>37.5</td></tr><tr><td>平成19年</td><td>36.0</td></tr></table>			年次	割合(%)	平成2年	15.5	平成7年	18.5	平成12年	21.0	平成17年	23.0	年次	面積(km2)	昭和62年	41.5	平成4年	40.5	平成9年	38.5	平成14年	37.5	平成19年	36.0
年次	割合(%)																								
平成2年	15.5																								
平成7年	18.5																								
平成12年	21.0																								
平成17年	23.0																								
年次	面積(km2)																								
昭和62年	41.5																								
平成4年	40.5																								
平成9年	38.5																								
平成14年	37.5																								
平成19年	36.0																								
(2) 活動内容の案	活動①：小諸市の状況に関する実態調査 1) 耕作放棄地の実態調査 行政では困難な、地区外の実態調査や所有者の意向を確認する意向調査などをおこなう - 耕作放棄地の所有者の所在地（大里地区内か否か／分布など） - 耕作放棄地の所有者の意向調査（利用したいのか売りたいのかなど）																								

	2) 空室の実態調査 行政では困難な、流動的な空室の調査や建物の情報収集などを行う ・ 空室の分布把握 ・ 建物の情報収集（空室の築年数・広さなど）
	活動②：二地域での行事を繋ぐマッチング事業に関する調査 ・ 体験農業などを通じた交流イベントによるモニター調査（草刈り／種まき／収穫など） ・ 学習会などによる運営方法の意向調査（市民出資による運営方法学習会など） ・ イベント時だけでない交流に関する仕組みのテスト運用（インターネットによる日常の交流、ウェブカメラなどによる相互間の会議への参加など）
	活動③：二地域を繋ぐ定期便の試験運行 ・ マッチング事業と組み合わせて、それらをつなぐ定期便を運行 ・ 定期便運行に伴う協働出資方法や運用の試験的实施と検証及び評価
応募団体名	特定非営利活動法人グリーンネックレス、大里アグリデザイン研究会、特定非営利活動法人すぎなみ学びの楽園
リンク	http://www.green-necklace.org/main.html
部局／担当者名	担当理事 山田 清
連絡先	03-5377-7166 ／ marukomex.jp@nifty.com
推薦市町村名	小諸市